

# I 事業報告書

## 1 処務の概要

定款並びに関係法令等に基づく運營業務の実施状況等は次のとおりです。

### (1) 重要な処務事項

年 月 日	処 務 事 項
令. 7. 4. 30	令和7年度第1回水産振興調査研究事業検討委員会 (諫早市役所)
5. 27	監事による決算監査 (当基金事務所)
6. 2	令和7年度第1回定時理事会 (ホテルフラッグス諫早)
	1) 令和6年度事業報告書及び収支決算書 承認
	2) 令和7年度補正予算 [第1回] (案) 承認
	3) 監事の補充選任にかかる候補者の推薦 (案) 承認
	4) 評議員の補充選任にかかる候補者の推薦 (案) 承認
	5) 令和7年度定時評議員会の日時、場所及び目的である事項 (案) 承認
	6) 理事長及び専務理事の職務執行状況報告
	7) 公益法人制度改革及び包括外部監査結果に伴う今後の対応、諫早湾地域 振興基金と関連事業について報告
6. 18	令和7年度定時評議員会 (ホテルグランドパレス諫早)
	1) 令和6年度事業報告
	2) 令和6年度収支決算書 承認
	3) 監事の補充選任
	○監 事 新野純子 (選任)
	○監 事 友岡量 (辞任)
	4) 評議員の補充選任
	○評議員 清川久義 (選任)
	○評議員 中村一三 (辞任)
	5) 令和7年度事業計画書及び収支予算書の報告
	6) 公益法人制度改革及び包括外部監査結果に伴う今後の対応、諫早湾地域 振興基金と関連事業について報告
7. 15	令和7年度ひとが行き交う諫早湾づくり助成事業採択委員会 (諫早市役所)
8. 20	令和7年度水産振興助成事業採択委員会 (諫早市役所)
10. 14	令和7年度財政援助団体等監査 [県監査事務局] (当基金事務所)
12. 8	来年度要望事業等ヒアリング (諫早湾漁協 本所)
12. 9	同 (諫早湾漁協 瑞穂支所・国見支所)
令. 8. 1. 8	令和7年度財政援助団体等監査 [県監査委員] (当基金事務所)
1. 9	令和8年度基本財産一部処分限度額についての協議 (長崎県庁)
1. 15	同 (諫早市役所・雲仙市役所)

年 月 日	処 務 事 項
令. 8. 1. 30	令和7年度第1回臨時理事会 (理事の提案による書面同意) 1) 令和8年度基本財産一部処分限度額 (案) 承認 2) みなし決議方式による令和7年度第1回臨時評議員会の目的である事項(案)承認 3) 予算の小科目間流用の報告
2. 18	令和7年度第1回臨時評議員会 (理事の提案による書面同意) 1) 令和8年度基本財産一部処分限度額 (案) 承認
3. 5	令和7年度第2回臨時理事会 (理事の提案による書面同意) 1) 理事の補充選任にかかる候補者の推薦 (案) 承認 2) みなし決議方式による令和7年度第2回臨時評議員会の目的である事項(案)承認
3. 13	令和7年度第2回臨時評議員会 (理事の提案による書面同意) 1) 理事の補充選任 ○理 事 平田研 (選任) ○理 事 大石賢吾 (辞任)
3. 27	令和7年度第2回定時理事会 (理事の提案による書面同意) 1) 理事長の選定 ○理事長 平田研 2) 令和8年度事業計画書 (案) 及び収支予算書 [正味財産増減計算ベース] (案) 承認 3) 令和8年度資産運用管理方針 (案) 承認 4) 理事長及び専務理事の職務執行状況報告
3. 31	令和7年度第2回水産振興調査研究事業検討委員会 (書面による意見集約)

## (2) 申請、提出、届出に関する事項

文書年月日	提 出 先	事 項	承認・完了日	根拠となる法令等
令. 7. 4. 1	長崎振興局長	法人県民税の減免について (申請)	令. 7. 10. 1	長崎県税条例 第16条
4. 3	諫 早 市 長	法人市民税の減免について (申請)	10. 16	諫早市税条例 第51条
6. 13	県 知 事	事業報告等に係る提出書 について (提出)	—	認定法(※1) 第22条第1項
6. 26	長崎地方法務局	評議員及び監事の変更登記 (申請)	6. 26	法人法(※2) 第303条
7. 10	県 知 事	評議員及び監事の変更登記 の完了について (届出)	—	認定法 第13条第1項
令. 8. 3. 30	県 知 事	事業計画書等に係る提出書 について (提出)	—	認定法 第22条第1項

(※1) 認定法：「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」

(※2) 法人法：「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」

(3) 役員等に関する事項

1) 役員

理事 規定 5名以上10名以内  
現員 7名

監事 規定 2名以内  
現員 2名

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏名	職名等
理事長	平 田 研	長崎県知事
副理事長	大 久 保 潔 重	諫早市長
理事	金 澤 秀 三 郎	雲仙市長
同	友 永 智	有識者
同	松 尾 十 七 治	有識者
同	田 代 一 義	有識者
専務理事	宗 圭 之 介	(兼事務局長)
監事	新 野 純 子	諫早市会計管理者兼会計課長
同	酒 井 義 幸	雲仙市理事兼会計管理者

2) 評議員

評議員 規定 5名以上10名以内  
現員 9名

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏名	職名等
評議員	清 川 久 義	長崎県議会 前農水経済委員長
同	洪 谷 隆 秀	長崎県農林部長
同	吉 田 誠	長崎県水産部長
同	藤 山 哲	諫早市副市長
同	松 橋 秀 明	雲仙市副市長
同	高 尾 茂	有識者
同	吉 田 博 幸	有識者
同	荒 川 敏 久	有識者
同	中 道 正 春	有識者

## 2 事業の概要

諫早湾地域における水産振興や地域振興に寄与するため、令和7年度事業計画書に基づき、水産振興のための助成事業及び調査研究事業並びに地域振興のための助成事業等を、長崎県の指導・監督、諫早市及び雲仙市の協力のもと、次のとおり実施しました。

### (1) 公益目的事業1「魅力ある諫早湾水産業創出支援事業」

#### 1) 助成事業

諫早湾地域における水産資源の維持・増大又は新たな定着化を図るため、海域特性に応じた水産振興に資する取組みを公募して対象事業を決定（「3 附属明細書」参照。）し、次のとおり助成を行いました。

魅力ある諫早湾水産業創出支援事業助成金	助成件数	助成額合計
	17件	28,195,956円

#### 【明細書（助成内容等）】

##### ① 種苗購入・放流等への助成

諫早湾の主要生産物であるアサリ、カキの増殖のため、種苗の購入・放流等に対し、県の「諫早湾水産振興特別対策事業」を活用し、対象事業費の20%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	アサリ・カキの種苗購入 (アサリ134,819kg、カキ1,500連)	43,668,890	8,733,778
同 (瑞穂支所)	アサリ・カキの種苗購入等 (アサリ 15,000kg、カキ2,855連、丸カゴ500枚 等)	11,421,317	2,284,263
同 (国見支所)	アサリの種苗購入 (アサリ 13,000kg)	4,078,617	815,723
合計	3件	59,168,824	11,833,764

※諫早湾水産振興特別対策事業負担率基準（県60%、市15%、基金20%、漁協5%）

##### ② 漁場改良整備等への助成

諫早湾内漁業の基盤となるアサリ漁場の耕耘・覆砂や防御網設置作業などの事業に対し、県の「諫早湾水産振興特別対策事業」（負担割合は前出のとおり。）を活用し、対象事業費の20%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	アサリ漁場耕耘 (耕耘面積 244,200 m <sup>2</sup> )	4,126,980	825,396
同 (小長井本所)	アサリ漁場覆砂・防御網設置 (砂 1,300 m <sup>3</sup> 、防御網 77 反、KP ロープ 77 丸)	9,514,780	1,902,956
同 (国見支所)	アサリ漁場覆砂 (砂 590 m <sup>3</sup> )	3,894,000	778,800
合計	3件	17,535,760	3,507,152

### ③ 垂下式養殖(カキ・アサリ)の生産量拡大及び水産物の販売力強化への助成

カキ養殖は諫早湾における主要漁業に発展し、また垂下式アサリも地域の特産品として認知度が高まっていますが、諫早湾水産物の生産量拡大及び販売力強化のための取組みに対し、国の「有明海再生加速化対策交付金事業」及び県の「新たにチャレンジ水産経営応援事業」を活用し、対象事業費の25%以内(上限500万円)で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	カキ養殖筏1基の設置 (25.6m×16.35m) [鋼製 改良型] ※(有明海再生加速化対策交付金事業活用)	21,110,000	5,000,000
同 (瑞穂支所)	アサリ養殖筏2基の設置 @ (22.0m×12.0m) [コンポーズパイプ製 安全強化型]	12,467,560	3,116,000
同 (小長井本所)	殻付きカキ供給機1台、振動袋詰機1台の整備	7,990,000	1,997,000
合計	3件	41,567,560	10,113,000

※有明海再生加速化対策交付金事業(カキ養殖筏)負担率基準(国50%、市20%、基金25%、漁協5%)  
新たにチャレンジ水産経営応援事業負担率基準(県50%、市20%、基金25%、漁協5%)

### ④ 国産アサリ資源の確保のための取組みへの助成

有明海のみならず、全国的にアサリの生産量は激減しており、近年は主に中国からの輸入に頼る状況が続いています。漁業者が国産アサリ稚貝を採苗育成し、資源の確保を目指す取組みに対し、県の「諫早湾水産振興特別対策事業」(負担割合は前出のとおり。)を活用し、対策事業費の20%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	ラッセル袋 600枚購入	110,800	22,160
同 (瑞穂支所)	ラッセル袋 400枚購入等	94,400	18,880
合計	2件	205,200	41,040

### ⑤ 漁協運営にかかる経費の負担軽減による漁業生産活性化への助成

燃油価格等が高騰する中、ランニングコストの低減及び漁獲物付加価値向上を図る取組みに対し、県の「漁協経費負担軽減対策事業」を活用し、対象事業費の15%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	荷捌き施設の水槽用冷却機更新	3,701,000	555,000
同 (小長井本所)	荷捌き施設の水槽用紫外線殺菌装置更新	1,834,000	275,000
同 (小長井本所)	漁協会館の調理用コンロ更新	1,400,000	210,000
同 (瑞穂支所)	直売所の冷蔵・冷凍ショーケース更新	3,350,000	502,000
合計	4件	10,285,000	1,542,000

※漁協経費負担軽減対策事業負担率基準(県50%、基金15%、市16.6%以上、漁協5%以上)

⑥ 漁業協同組合が主体的に行う増養殖・加工開発の取組みへの助成

諫早湾漁協が主体となって取り組む増養殖・加工開発試験に対し、対象事業費の50%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	諫早湾のカキ・アサリ・芝エビ等を使った煎餅開発 試験（試作・パッケージデザイン検討）	921,585	459,000
合計	1件	921,585	459,000

⑦ 漁業協同組合への定額助成

諫早湾漁協からの要望の中で、県・市の補助は受けられないが諫早湾の水産振興のために有用と判断される事業や経費について、70万円を上限として助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (瑞穂支所)	漁協施設、設備の整備（給油施設防火シャッター、 直売店及び会議室のエアコン更新等）	726,709	700,000
合計	1件	726,709	700,000

## 2) 調査研究事業

諫早湾における水産資源の維持・増大又は新たな定着化のためには、増養殖技術の向上を図ることが重要です。そのため、諫早湾漁協、長崎県・諫早市・雲仙市の水産部門職員及び当基金の役職員で構成する「水産振興調査研究事業検討委員会」（「3 附属明細書」参照。）の審議を経て、令和7年度は次の〔1〕～〔2〕の調査研究に取り組みました。

調査項目	経費合計
〔1〕アサリ増養殖技術の開発試験	4,261,710円
〔2〕マガキの養殖技術の開発試験	

### 〔1〕アサリ増養殖技術の開発試験

（背景・ねらい）天然アサリについては資源も厳しい状況から、瑞穂地域と小長井地域で採苗や育成試験などを継続しており、令和7年度も採苗袋で稚貝の採苗と採苗後の育成手法の検討を行いました。

#### ① アサリ天然採苗試験

##### <瑞穂地域>

（方法）瑞穂地域の過去の干潟での採苗試験で最も良好な伊古地区において、適正な地盤高として確認済みの地盤高+50cm（潮位表基準）の地点に加え採苗区域をさらに拡大するため、地盤高+75cmで令和7年5月に砂利袋（45×60cm）を設置して採苗試験を開始し、その後の袋中のアサリの生息状況を調べました。アサリは9.5mm四方目合いの篩で残ったものを調べる篩調査で行いました。

（結果）令和8年3月の調査結果から、地盤高+75cmでは+50cmに比較して稚貝は少ないものの、昨年度と同様に1袋当たり約300個と多い生息数で、+75cmの地盤でも採苗に利用可能と思われました。

表1 瑞穂地域伊古地区での令和8年3月の地盤高別の砂利袋内のアサリの生息状況

調査日	平均生息数（個/袋）		平均殻長（mm）	
	地盤高+75cm	地盤高+50cm	地盤高+75cm	地盤高+50cm
R8.3.21	292	434	26.3	25.5

##### <小長井地域>

（方法）適地検討の一環で牧地区と井崎地区の2地区の干潟で令和7年5月に砂利袋を設置して採苗試験を開始し、袋中のアサリの生息を篩調査で行いました。

（結果）令和8年3月の調査結果から、両地区では1袋当たり100個前後の稚貝が生息しており、採苗可能と思われました。

表2 小長井地域の令和8年3月における2地区の砂利袋内のアサリの生息状況

調査日	平均生息数／（個/袋）		平均殻長（mm）	
	牧地区	井崎地区	牧地区	井崎地区
R8.3.4・5	70	140	23.7	29.6

#### ② 採苗貝の有効利用試験

##### <瑞穂地域>

（方法）昨年度の試験で、収穫時期などで作業しやすい高めの地盤高+100cmでも中間貝を育成できる可能性が考えられ、今年度も6月から中間貝（2cmサイズ）を砂利袋に入れ、地盤高+100cmと+75cmで生残を比較する試験を実施しました。

（結果）令和8年3月の調査結果から、+100cmの地盤高では生残率は8割以上で大量へい死の問題も無く、成長も+75cmと同等で、採苗後の中間貝を+100cmで育成することは可能と思われました。

表3 瑞穂地域伊古地区での令和8年3月の地盤高別の砂利袋内のアサリの生残状況

調査日	平均生残率（%）		平均殻長（mm）	
	地盤高+100cm	地盤高+75cm	地盤高+100cm	地盤高+75cm
R8.3.21	86.7%	78.3%	32.3	31.6

<小長井地域>

(方法) 牧と井崎地区の2地区で令和7年6月から中間貝を砂利袋に入れ、地区別に生残状況を調べました。

(結果) 令和8年3月の調査結果から、牧地区・井崎地区ともに7割以上の生残で、大量へい死も無く、成長も大差ないことから、両地区とも砂利袋での中間貝の育成は可能と思われました。

調査日	平均生残率(%)		平均殻長(mm)	
	牧地区	井崎地区	牧地区	井崎地区
R8.3.4・5	72%	85%	30.3	33.5

③ 天然アサリの被覆網による減耗防止試験(基礎試験)

<瑞穂地域>

◆伊古地区での被覆網試験

(方法) 伊古地区の自然地盤の表面に令和6年度に張った被覆網(5×5m、目合12mm四方)の2面とその外部について、令和8年3月にアサリの生息状況を篩調査で行いました。

(結果) 令和8年3月の調査結果から、2面(①区、②区)の網内の生息数は網外より多く、被覆網は減耗の低減に効果のある可能性が示されました。

調査日	平均生息数/㎡			平均殻長(mm)		
	網内(網①区)	網内(網②区)	網外	網内(網①区)	網内(網②区)	網外
R8.3.21	75	153	25	30.2	28.1	23.2

◆伊福地区での被覆網試験

(方法) 伊福地区で令和5年3月に砂利覆砂造成が行われた区域と近くの自然地盤の区域を使い、令和7年2月に被覆網を張り、令和8年3月にアサリの生息状況を篩調査で行いました。

(結果) 令和8年3月の調査結果から、網内の生息数は両地盤区域とも網外より多く、被覆網は減耗の低減に効果のある可能性が示されました。

地盤の区域	生息数(個/㎡)		平均殻長(mm)	
	網内	網外	網内	網外
砂利覆砂地盤区域	1,000	69	32.0	23.1
自然地盤区域	61	17	32.1	26.0

<小長井地域>

(方法) 牧地区と井崎の2地区で令和7年5月に被覆網を張り、令和8年3月にアサリの生息状況を篩調査で行いました。

(結果) 令和8年3月の調査結果では、両地区とも網内では1㎡当たり100個前後のアサリが生息し、井崎地区では網内は網外より個数が多かったことから、被覆網は減耗の低減に効果のある可能性が示されました。

地区	生息数(個/㎡)		平均殻長(mm)	
	網内	網外	網内	網外
牧地区	106	未調査	26.3	未調査
井崎地区	89	28	26.6	26.7

## [2] マガキの養殖技術の開発試験

(背景・ねらい) カキ地種種苗での養殖を検討するため干潟での籠養殖試験を前年度に続き実施するとともに、今年度は新たに三倍体の人工種苗での養殖の可能性を検討するための基礎試験を開始しました。

### ① 天然地種種苗を用いる養殖試験

#### ◆養殖試験

(方法) 雲仙市長浜地区の干潟の潮間帯で令和7年2月に得られた天然採苗の稚貝(2 cmサイズ)3,700個を養殖籠(バスケット籠)に収容して試験を開始し、適宜籠替えを行いながら生残と大きさを示す殻高の推移を調べました。

(結果) 出荷時期のカキの大型化を目的に、例年より早期の令和6年3月から採苗開始した種苗を用いましたが、養殖試験開始時の令和7年2月の稚貝は付着物が特に多く、稚貝の大きさも例年並みの開始となり、出荷時期の令和8年1月には平均殻高61mmでほぼ前年度並みの成長となりました。なお、別途行った令和7年度の採苗試験では例年より大型の種苗が早期に得られたことから、令和8年度の養殖試験を開始しているところです。

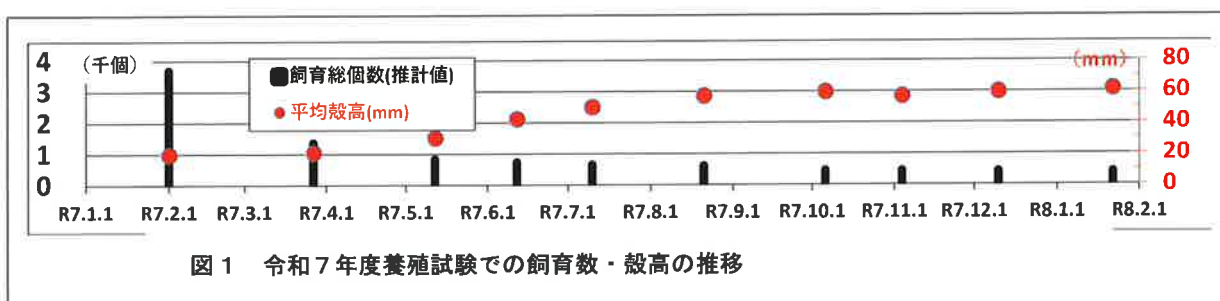


図1 令和7年度養殖試験での飼育数・殻高の推移

#### ◆天然採苗試験

(方法) 同地区で令和7年6月12日から採苗盤を設置して採苗を開始して経過を調べました。

(結果) 令和7年10月7日には採苗したカキの平均殻高は27mmとなり、例年より早期に大型の天然種苗が得られました。同日に採苗盤から稚貝を剥離して同地区での籠養殖試験を開始し、令和8年3月時点での平均殻高は37mmとなっており、今後、令和8年度の養殖試験として継続して経過を調べる予定です。

### ② 三倍体人工種苗による飼育試験(基礎試験)の開始

三倍体カキ人工種苗のシングル式種苗とカルチ式種苗の2種を用いて、雲仙市側と諫早市小長井側で小規模での予備的な飼育試験を開始しており、令和8年度での生育状況を調査予定です。

#### ◆シングル種苗での飼育試験

(方法) 令和7年11月に5mmサイズの種苗を搬入し、雲仙市側では長浜地区の干潟での潮間帯で、小長井側では築切沖の筏から海面下で、稚貝を籠に収容して飼育試験を開始しました。

(途中状況) 令和8年3月時点では、雲仙市側長浜干潟で殻高3cmサイズを約700個、小長井側築切沖では3~4.5cmサイズ約1,700個を飼育中で、まだ小型であり、令和8年度の秋頃までを見込んだ飼育を継続し、生育状況の基礎的知見を得たいと思っています。

#### ◆カルチ種苗での飼育試験

(方法) 令和7年12月に2cmサイズの稚貝が付着したホタテ殻の種苗盤を小長井と瑞穂地区に搬入し、本養殖形式の沖出時期の検討のために、海面筏への沖出しは両地区とも3回に分け、1回目は12月中、2回目は令和8年2月~3月、3回目は令和8年4月に実施しました。

沖出しはロープ1本あたりホタテ殻10枚を挟み込む方法で行っています。

(途中状況) 令和8年3月時点では、両地区とも12月沖出し分がやや大きいものの3~4cm程度とまだ小型であり、令和8年度の秋ごろをまでを見込んだ飼育を継続し、生育状況の基礎的知見を得たいと思っています。

## (2) 公益目的事業2「ひとが行き交う諫早湾づくり促進事業」

### 1) 助成事業

諫早湾干拓事業で創出された自然干陸地や調整池等をあらたな地域活性化の資源として捉え、地域住民・団体が自ら企画した環境美化活動・イベント開催などによる魅力づくり、諫早湾地域の魅力を伝える情報発信等の取組みを公募して対象事業を決定（「3 附属明細書」参照。）し、次のとおり助成を行いました。

ひとが行き交う諫早湾づくり促進事業助成金	助成件数	助成額合計
	4件	3,200,000円

### 【明細書（助成内容等）】

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
本明川をきれいにしゅう会 (構成22人)	自然干陸地除草管理及びコスモスの植栽管理並びに小学生の種まき体験学習会の開催 【場所】諫早市川内町不知火橋下 (除草及びコスモスの植栽 約2.3ha)	1,250,000	800,000
黒崎干陸地を守る会 (構成20人)	自然干陸地除草管理及びコスモス・菜の花の植栽管理、芝生・つつじの管理 【場所】諫早市高来町黒崎地区 (除草 約2.2ha、うちコスモス・菜の花の植栽管理 約0.8ha) (芝生 約0.371ha)	1,018,067	800,000
特定非営利活動法人拓生会 (構成28人)	自然干陸地除草管理及びコスモス・菜の花の植栽管理及びクリーン作戦(清掃活動)の実施 【場所】諫早市高来町深海地区(約13.8ha管理) (コスモス植栽 約3ha、菜の花植栽 約1ha、クリーン作戦は構成員ほか約150人参加)	3,801,671	800,000
いさぶら実行委員会 (構成5人)	いさぶらルンルン ノルディックウォーキング大会の開催(2回) 【場所(参加者)】①自然干陸地・②中央干拓地 ① 11/23 いさはや水辺のクロスカントリーコース(37名) ② 3/8 諫早湾干拓地前面堤防中央部公園(43名)	815,040	800,000
合計	4件	6,884,778	3,200,000

## (3) その他の事業1「水産業経営安定対策事業」

### 1) 助成事業

漁家の経営基盤の安定のため、漁業後継者等の船舶免許の取得などの技能習得の取組みについて、次のとおり助成を行いました。

技能開発訓練助成金	助成件数	助成額合計
	1件	84,000円

### 【明細書（助成内容等）】

○助成の内容	*基本手当 2,000円/日 *受講・教材手当 経費の80%以内(上限80,000円)	
○助成の実績	1 二級小型船舶免許 1件	84,000円(諫早湾漁協瑞穂支所 17才)
	件数 1件	84,000円

### 3 附属明細書

#### (1) 助成事業並びに調査研究事業の明細

助成事業の内容並びに調査研究事業の成果等にかかる明細は、「2 事業の概要」に記載したとおりです。

#### (2) 助成事業の公募・事業採択並びに調査研究事業の結果報告・計画策定の方法

助成事業の公募・事業採択の方法並びに調査研究事業の結果報告・計画策定の方法は、以下のとおりです。

#### 『公益目的事業1 関連』

##### ①令和7年度魅力ある諫早湾水産業創出支援助成事業

- ◆公募期間 令和7年5月7日(水)から令和7年7月11日(金)まで
- ◆公募方法 当基金のホームページ、諫早市及び雲仙市(以下、「関係市」という。)の市報に公募の実施を掲載し、公募要領を当基金事務所、関係市の本庁及び諫早湾周辺支所に備付け

##### ◆水産振興助成事業採択委員会

応募のあった事業の内容について各委員に報告後、助成事業を採択

- 開催日時 令和7年8月20日(水) 10時00分～11時00分
- 開催場所 諫早市役所会議室
- 委員 長崎県漁政課総括課長補佐(委員長)  
同 県南水産業普及指導センター所長  
同 総合水産試験場次長兼企画開発推進室長  
諫早市林務水産課長  
雲仙市農漁村整備課長  
当基金専務理事 以上6名

##### ②令和7年度水産振興調査研究事業

##### ◆水産振興調査研究事業検討委員会

##### 【第1回】

令和6年度の調査研究事業の結果等を報告した上で、これまでの結果や状況を踏まえ令和7年度諫早湾貝類等増養殖試験計画書を作成

- 開催日時 令和7年4月30日(水) 14時00分～15時30分
- 開催場所 諫早市役所会議室
- 委員等 諫早湾漁協本所 副組合長、参事  
同 瑞穂支所 支所長、担当職員  
同 国見支所 理事、担当職員  
長崎県水産加工流通課係長  
同 総合水産試験場 介藻類科長  
漁場環境科長  
同 県南水産業普及指導センター所長、係長、技師

諫早市 林務水産課長  
雲仙市 農漁村整備課参事補  
当基金専務理事（委員長）、事務局次長、主任2名 以上18名

【第2回】

- 令和8年3月18日（水）書面による提案 → 意見等集約  
令和7年度調査の進捗状況の報告と令和8年度調査の骨格について提案し、意見等を聴取・集約  
（調査方法等の詳細については、令和8年5月に開催予定の当委員会において、令和7年度調査の結果等を報告後、審議予定）
- 委員等 同上

『公益目的事業2関連』

①令和7年度ひとが行き交う諫早湾づくり促進助成事業

- ◆公募期間 令和7年5月7日（水）から令和7年6月24日（火）まで
- ◆公募方法 当基金のホームページ、関係市の市報に公募の実施を掲載し、公募要領を当基金事務所、関係市の本庁及び諫早湾周辺支所に備付け

◆ひとが行き交う諫早湾づくり助成事業採択委員会

応募のあった事業の内容について各委員に報告後、助成事業を採択

- 開催日時 令和7年7月15日（火）10時00分～10時40分
- 開催場所 諫早市役所会議室
- 委員 諫早市干拓室長（委員長）  
長崎県諫早湾干拓課長  
雲仙市農林課長  
諫早商工会議所事務局長  
雲仙市商工会事務局長  
当基金専務理事 以上6名